

◎ 指示があるまで開かないこと。
(平成31年2月17日 14時20分～17時50分)

注意事項

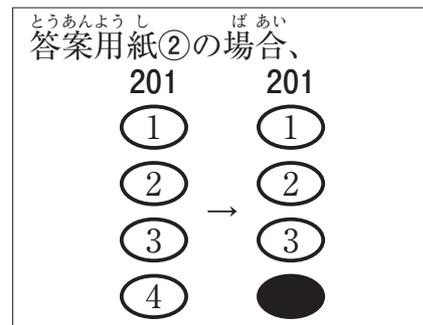
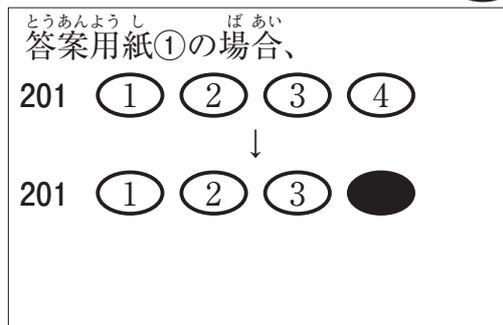
- 試験問題の数は120問で解答時間は正味3時間30分である。
- 解答方法は次のとおりである。
 - (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。
 なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

201 看護業務を行うことが可能となるのはどれか。

- 国家試験受験日以降
- 合格発表日以降
- 合格証書受領日以降
- 看護師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。



れい
(例2)

202 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

202	①	②	③	④	⑤
			↓		
202	①	②	●	④	⑤

答案用紙②の場合、

202	202
①	①
②	②
③	→ ●
④	④
⑤	⑤

れい
(例3)

203 看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

203	①	②	③	④	⑤
			↓		
203	●	②	③	④	●

答案用紙②の場合、

203	203
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	●

(2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： ① ② %

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(●)
204	(●)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

答案用紙②の場合、

204	①	②
	(0)	(●)
	(1)	(1)
	(2)	(2)
	(3)	(3)
	(4)	(4)
	(5)	(5)
	(6)	(6)
	(7)	(7)
	(8)	(8)
	(●)	(9)

1 日本における平成28年(2016年)の総人口に占める老年人口の割合で最も近いのはどれか。

1. 17%
2. 27%
3. 37%
4. 47%

2 平成28年(2016年)の国民生活基礎調査における通院者率が男女ともに最も高いのはどれか。

1. 糖尿病
diabetes mellitus
2. 腰痛症
lumbago(low back pain)
3. 高血圧症
hypertension
4. 眼の病気

3 労働安全衛生法に規定されているのはどれか。

1. 失業手当の給付
2. 労働者に対する健康診断の実施
3. 労働者に対する労働条件の明示
4. 雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

4 看護師が行う患者のアドボカシーで最も適切なものはどれか。

1. 多職種と情報を共有する。
2. 患者の意見を代弁する。
3. 患者に害を与えない。
4. 医師に指示を聞く。

5 看護師の免許の取消しを規定するのはどれか。

1. 刑法
2. 医療法
3. 保健師助産師看護師法
4. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

6 Maslow, A. H. の基本的欲求の階層で、食事・排泄・睡眠の欲求はどれか。

1. 安全の欲求
2. 自己実現の欲求
3. 承認の欲求
4. 生理的欲求

7 生後4か月の乳児の発達を評価するのはどれか。

1. 寝返り
2. お座り
3. 首のすわり
4. つかまり立ち

8 Erikson, E. H. の乳児期の心理・社会的発達段階で正しいのはどれか。

1. 親密
2. 同一性
3. 自主性
4. 基本的信頼

9 成人の体重に占める体液の割合で最も高いのはどれか。

1. 血漿
2. 間質液
3. 細胞内液
4. リンパ液

10 要介護者に対し、看護・医学的管理の下で必要な医療や日常生活上の世話を行うのはどれか。

1. 介護老人保健施設
2. 短期入所生活介護
3. 保健センター
4. 有料老人ホーム

11 運動性言語中枢はどれか。

1. 中心後回
2. 大脳基底核
3. Broca〈ブローカ〉野
4. Wernicke〈ウェルニッケ〉野

12 ジャパン・コーマ・スケール〈JCS〉のⅢ(3桁)で表現される意識レベルはどれか。

1. 意識清明の状態
2. 刺激すると覚醒する状態
3. 刺激しても覚醒しない状態
4. 刺激しなくても覚醒している状態

13 もつと きんきゅうせい たか ふ せいみやく 最も緊急性の高い不整脈はどれか。

1. しんぼうさいどう 心房細動
atrial fibrillation
2. しんしつさいどう 心室細動
ventricular fibrillation
3. しんぼうせい き がいしゅうしゆく 心房性期外収縮
atrial premature contraction
4. どぼうしつ I度房室ブロック
first degree atrioventricular block

14 ふしゆ げんいん 浮腫の原因となるのはどれか。

1. こうしつしんとうあつ じょうしやう 膠質浸透圧の上昇
2. かんりゅう ふ ぜん リンパ還流の不全
3. もうさいけっかんないあつ てい か 毛細血管内圧の低下
4. もうさいけっかんとう か せい てい か 毛細血管透過性の低下

15 きやうしんしやうほつ さ じ ぜつ か とう よ 狭心症発作時に舌下投与するのはどれか。

1. ヘパリン
2. ジゴキシシン
3. アドレナリン
4. ニトログリセリン

16 りよくないしやうかんじゃ とう よ きん き 緑内障患者への投与が禁忌なのはどれか。

1. コデイン
2. アスピリン
3. アトロピン
4. フェニトイン

17 かんごし おこな かんご かに てきせつ 看護師が行う看護過程で適切なのはどれか。

1. もんだいかいけつ しこう 問題解決思考である。
2. いし しじもと けいかく た 医師の指示の下で計画を立てる。
3. かんごし かしもと せってい 看護師の価値に基づいてゴールを設定する。
4. けいかくりつあん ひょうか だんかい こうせい アセスメント、計画立案、評価の3段階で構成される。

18 せいじん かんちよう こうもん そうにゆう ふか 成人のグリセリン浣腸で肛門に挿入するチューブの深さはどれか。

1. 2 cm
2. 5 cm
3. 12 cm
4. 15 cm

19 みぎぜんわん じぞくてんてき かんじゃ しんい こうかん てきせつ 右前腕に持続点滴をしている患者の寝衣交換で適切なのはどれか。

1. ひだりそで ぬき みぎそで き 左袖から脱ぎ、右袖から着る。
2. ひだりそで ぬき ひだりそで き 左袖から脱ぎ、左袖から着る。
3. みぎそで ぬき ひだりそで き 右袖から脱ぎ、左袖から着る。
4. みぎそで ぬき みぎそで き 右袖から脱ぎ、右袖から着る。

20 てんとう てんらく きけんせい たか せいじん にゅういんかんじゃ かんごし おこな たいおう ただ 転倒・転落の危険性が高い成人の入院患者に看護師が行う対応で正しいのはどれか。

1. やかん しよう 夜間はおむつを使用する。
2. はきもの しよう 履物はスリッパを使用する。
3. りしよう しよう ひか 離床センサーの使用は控える。
4. たんざいじ そくてい ゆか たか 端坐位時に足底が床につくベッドの高さにする。

21 中心静脈ちゅうしんじょうみやくから投与とうよしなければならないのはどれか。

1. 脂肪乳剤しぼうにゅうざい
2. 生理食塩液せいりしょくえんえき
3. 5%ブドウ糖液とうえき
4. 高カロリー輸液こうゆえき

22 赤色あかいろのトリアーシタグが意味いみするのはどれか。

1. 死亡群しぼうぐん
2. 保留群ほりゅうぐん
3. 最優先治療群さいゆうせんちりょうぐん
4. 待機的治療群たいきてきちりょうぐん

23 温罨法おんあんぼうの作用さようで正しいのはどれか。

1. 平滑筋へいかつきんが緊張きんちようする。
2. 局所きょくしょの血管けつかんが収縮しゅうしゆくする。
3. 還流血流量かんりゅうけつりゅうりようが減少げんしょうする。
4. 痛覚神経つうかくしんけいの興奮こうふんを鎮静ちんせいする。

24 体温調節中枢たいおんちようせつちゆうすうがあるのはどれか。

1. 橋きよう
2. 延髄えんずい
3. 小脳しょうのう
4. 大脳皮質だいのうひしつ
5. 視床下部ししょうかぶ

25 腎機能を示す血液検査項目はどれか。

1. 中性脂肪
2. ビリルビン
3. AST〈GOT〉
4. クレアチニン
5. LDL コレステロール

26 嗅覚の一次中枢はどれか。

1. 嗅球
2. 嗅上皮
3. 後頭葉
4. 上鼻甲介

27 標的細胞の細胞膜に受容体があるのはどれか。

1. 男性ホルモン
2. 甲状腺ホルモン
3. 糖質コルチコイド
4. 甲状腺刺激ホルモン

28 開心術後の心タンポナーデで正しいのはどれか。

1. 徐脈
2. 心音増強
3. 心拍出量の増加
4. 中心静脈圧の上昇

29 介護保険の第1号被保険者で正しいのはどれか。

1. 介護保険料は全国同額である。
2. 介護保険被保険者証が交付される。
3. 40歳以上65歳未満の医療保険加入者である。
4. 介護保険給付の利用者負担は一律3割である。

30 発達障害者支援法で発達障害と定義されているのはどれか。

1. 学習障害
2. 記憶障害
3. 適応障害
4. 摂食障害

31 自殺対策基本法で都道府県に義務付けられているのはどれか。

1. 自殺総合対策推進センターの設置
2. 自殺総合対策大綱の策定
3. ゲートキーパーの養成
4. 自殺対策計画の策定

32 ハヴィガースト, R. J. の発達課題に関する説明で適切なものはどれか。

1. 成長に伴い発達課題は消失する。
2. 各発達段階の発達課題は独立している。
3. 身体面の変化と発達課題は無関係である。
4. 発達課題の達成は個人の生活と関連する。

33 風疹ふうしんの疑うたがいがある入院患者にゅういんかんじやの隔離かくり予防策よぼうさくで適切てきせつなのはどれか。
rubella

1. 標準ひょうじゆん予防策よぼうさく
2. 標準ひょうじゆん予防策よぼうさくと接触感染せつしよくかんせん予防策よぼうさく
3. 標準ひょうじゆん予防策よぼうさくと飛沫感染ひまつかんせん予防策よぼうさく
4. 標準ひょうじゆん予防策よぼうさくと空気感染くうきかんせん予防策よぼうさく

34 死後しごの処置しよちで適切てきせつなのはどれか。

1. 枕まくらは氷枕ひょうちんにする。
2. 義歯ぎしを装着そうちやくする。
3. 肛門こうもんには青梅綿おうめわた、脱脂綿だつしめんの順じゆんで詰めるつ。
4. 和装わそうの更衣こういの場合ばあい、襟えりは右前みぎまえに合わせるあ。

35 嚙下障害えんげしやうがいを評価ひやうかする改訂水飲かいていみずのみテストで正ただしいのはどれか。

1. 嚙下後えんげご 10 秒間びやうかんで評価ひやうかする。
2. 嚙下動作えんげどうさの準備期じゆんびきを評価ひやうかする。
3. 嚙下後えんげごの呼吸状態こきゅうじやうたいを評価ひやうかする。
4. 80 mL の水みずの嚙下状況えんげじやうきやうを評価ひやうかする。

36 入浴時にゅうよくじに全身ぜんしんの血液循環けつえきじゆんかんを促進そくしんする作用さやうはどれか。

1. 鎮静作用ちんせいさやう
2. 浮力作用ふりよくさやう
3. 抗酸化作用かうさんかさやう
4. 静水压作用せいすいあつさやう

37 1 回換気量かいかん きりょうにかんけい関係なく吸入酸素濃度きゅうにゅうさん そ の う どを調節ちようせつできる器具き ぐはどれか。

1. 鼻カニューレはな
2. フェイスマスク
3. ベンチュリーマスク
4. リザーバー付酸素マスクつきさん そ

38 成人患者せいじんかんじゃへの薬剤やくざいの投与方法とう よ ほうほうで正しいのはどれか。ただ

1. 筋肉内注射きんにくないちゅうしゃは大殿筋だいでんきんに行う。おこな
2. 点眼薬てんがんやくは結膜囊けつまくのうに滴下てき かする。
3. 皮下注射ひ かちゅうしゃは前腕内側ぜんわんないそくに行う。おこな
4. 食間の指示しょっかん し じの経口薬けいこうやくは食事中しょくじちゅうに服用ふくようさせる。

39 永久的止血法えいきゅうてき し けつほうに含まれるのはどれか。ふく

1. 止血帯法し けつたいほう
2. タンポン法ほう
3. 血管結紮法けっかんけっさつほう
4. 間接圧迫止血法かんせつあつぱく し けつほう

40 成人せいじんに行う頭部MRI検査おこな とうぶ けんさで正しいのはどれか。ただ

1. 造影ぞうえいを伴ともなわない場合は検査直前ば あい けん さ ちよくぜんまで飲食いんしょくしてよい。
2. 使い捨てカイロつか すは装着そうちやくしたままでよい。
3. 検査中けん さちゅうは手足てあしを自由じゆうに動かうごかしてよい。
4. 補聴器ほちよう きは装着そうちやくしたままでよい。

41 A さん(48 歳、男性)は、仕事中に生じた胸部と右肩の違和感を主訴に来院した。

バイタルサインは安定しているが、スタンフォード分類 B 型の急性大動脈解離と

診断され、医師から手術を勧められた。

治療の選択で迷っている様子の A さんへの対応で適切なのはどれか。

1. 「医師からの治療のリスクや合併症の説明で、不明な点はありますか」
2. 「手術を受けるか受けないか、すぐに決めたほうがよいです」
3. 「医師の判断に任せるのが一番よいと思います」
4. 「緊急度が高いので、話はあとにしましょう」

42 A さん(64 歳、男性)は、2 年前に前立腺癌と診断され、内分泌療法を受けていた。

1 か月前から体動時に強い痛みが腰部に生じるようになり、外来を受診したところ腰椎転移と診断された。

A さんに生じている痛みで最も考えられるのはどれか。

1. 関連痛
2. 体性痛
3. 中枢痛
4. 内臓痛

43 成人患者の気管支喘息の治療で正しいのはどれか。

1. テオフィリンの投与中は血中濃度の測定が必要である。
2. 副腎皮質ステロイド薬吸入後の含嗽は必要ない。
3. インフルエンザワクチン接種は禁忌である。
4. 発作時には β 遮断薬を内服する。

44 経皮的腎生検を受ける患者への説明で適切なのはどれか。

1. 検査中の体位は仰臥位とする。
2. 穿刺時にくり返し深呼吸をする。
3. 検査後はベッド上安静とする。
4. 検査後2日間は禁食にする。

45 糖質コルチコイドの分泌が長期に過剰となった状態の身体所見で正しいのはどれか。

1. 眼球突出
2. 甲状腺腫大
3. 頬 脈
4. 満月様顔貌

46 慢性副鼻腔炎の手術を受けた患者に対する説明で適切なのはどれか。

1. 咽頭にたまった分泌物は飲んでも良い。
2. 臥床時は頭部を低く保つ。
3. 手術当日から入浴が可能である。
4. 物が二重に見えるときは看護師に伝える。

47 サクセスフルエイジングの説明で適切なのはどれか。

1. 老化の過程にうまく適応する。
2. 権威のある者によって一方的に守られる。
3. 生命あるものに共通して起こる現象である。
4. 社会的な役割から離脱することで自由になる。

48 判断能力が不十分な認知症高齢者の権利擁護を目的とするのはどれか。

1. 公的年金制度
2. 生活保護制度
3. 後期高齢者医療制度
4. 日常生活自立支援事業

49 Aさん(76歳、女性)は、ステージ2の慢性腎臓病と診断された。身長146cm、体重50kg。日常生活は自立し、毎日家事をしている。週2回、ビールをグラス1杯程度飲んでいる。

Aさんへの生活指導の内容で優先されるのはどれか。

1. 安静
2. 禁酒
3. 減塩
4. 体重の減量

50 認知症高齢者との対話で適切なのはどれか。

1. 表情を見せながら話す。
2. 高齢者の横から話しかける。
3. 会話の内容を記憶しているか確認する。
4. 言葉が出てこない時は思い出すまで待ち続ける。

51 介護保険制度における地域密着型サービスはどれか。

1. 介護老人保健施設
2. 介護老人福祉施設
3. 通所リハビリテーション
4. 認知症対応型共同生活介護〈認知症高齢者グループホーム〉

52 平成27年(2015年)の人口動態調査で、5～9歳の死因における不慮の事故の原因で最も多いのはどれか。

1. 窒息
2. 交通事故
3. 転倒・転落
4. 溺死および溺水

53 小児慢性特定疾病対策における医療費助成で正しいのはどれか。

1. 対象は5疾患群である。
2. 対象年齢は20歳未満である。
3. 医療費の自己負担分の一部を助成する。
4. 難病の患者に対する医療等に関する法律に定められている。

54 乳幼児の正常な言語発達で正しいのはどれか。

1. 生後1か月で喃語が出始める。
2. 生後6か月で意味のある1語が言える。
3. 1歳2か月で2語文を話す。
4. 4歳で4つの色を正しく言える。

55 離乳の開始で正しいのはどれか。

1. 離乳食は1日2回から開始する。
2. 人工乳はフォローアップミルクにする。
3. 哺乳反射の減弱が開始時の目安のひとつである。
4. 離乳食は歯ぐきでつぶせる硬さのものから始める。

56 障害のレベルを運動機能と知能指数で区分するのはどれか。

1. 大島分類
2. NYHA 分類
3. 国際生活機能分類<ICF>
4. Hugh-Jones<ヒュー・ジョーンズ>分類

57 人間の性の意義と特質の組合せで適切なものはどれか。

1. 快楽性としての性 ———— 種の保存
2. 生殖性としての性 ———— 心理・社会的属性
3. 性役割としての性 ———— 性的指向
4. 連帯性としての性 ———— 人間関係の形成

58 出生前診断を目的とした羊水検査で適切なものはどれか。

1. 先天性疾患のほとんどを診断することができる。
2. 診断された染色体異常は治療が可能である。
3. 合併症として流産のリスクがある。
4. 妊娠 22 週以降は検査できない。

59 新生児聴覚スクリーニング検査で正しいのはどれか。

1. 空腹時に行う。
2. 泣いていない時に行う。
3. タンデムマス法で行う。
4. 生後 24 時間以内に行う。

60 リエゾン^{せいしんかんご}精神看護^{かつどう}の活動はどれか。

1. 行動制限^{こうどうせいげん}の指示^{しじ}
2. 向精神薬^{こうせいしんやく}の処方^{しょほう}
3. 他科^{たか}への転棟^{てんとう}指示^{しじ}
4. コンサルテーション^{たいおう}への対応

61 知的障害^{ちてきしょうがい}〈精神遅滞^{せいしんちたい}〉の原因^{げんいん}となる疾患^{しつかん}はどれか。
intellectual disability (mental retardation)

1. 統合失調症^{とうごうしつちようしやう}
schizophrenia
2. フェニルケトン尿症^{にようしやう}
phenylketonuria
3. Alzheimer〈アルツハイマー〉病^{びやう}
Alzheimer disease
4. Creutzfeldt-Jakob〈クロイツフェルト・ヤコブ〉病^{びやう}
Creutzfeldt-Jakob disease

62 Aさん(24歳^{さい}、男性^{だんせい})は、昼間^{ひるま}の過剰^{かじやう}な眠気^{ねむけ}を主訴^{しゆそ}に来院^{らいいん}した。半年前^{はんとしまえ}に居眠り^{いねむ}運転^{うんてん}で交通事故^{こうつうじこ}を起こした。入眠時^{にゅうみんじ}の幻視^{げんし}や睡眠^{すいみん}と覚醒^{かくせい}の移行期^{いこうき}に体^{からだ}を動か^{うご}かせなくなる^なことがある。また、笑^{わら}ったり、怒^{おこ}ったりしたときに脱力^{だつりよく}してしまうこともある。

最も^{もつと}考え^{かんが}られる疾患^{しつかん}はどれか。

1. 睡眠時遊行症^{すいみんじゆうこうしやう}
sleepwalking (somnambulism)
2. ナルコレプシー
narcolepsy
3. 睡眠時無呼吸症候群^{すいみんじむこきゅうしやうこうぐん}
sleep apnea syndrome
4. 睡眠・覚醒スケジュール障害^{すいみんかくせいしやうがい}
sleep-wake schedule disorders

63 現在の日本の精神医療で正しいのはどれか。

1. 精神保健福祉センターは各市町村に設置されている。
2. 精神病床に入院している患者の疾患別内訳では認知症が最も多い。
3. 精神障害者保健福祉手帳制度によって通院医療費の給付が行われる。
4. 人口当たりの精神病床数は経済協力開発機構(OECD)加盟国の中では最も多い。

64 Aさん(60歳、女性)は、統合失調症で10年間入院していた。来月退院予定となったため、Aさん、医師、看護師でチームを作り、退院支援計画を立てることになった。Aさんは「両親も亡くなってしまい、これからの生活費や住む場所がとても心配だ」と訴えてきた。

退院支援を進めるにあたり、チームに加わるメンバーで最も適切なものはどれか。

1. 薬剤師
2. 精神保健福祉士
3. ピアサポーター
4. 臨床心理技術者(臨床心理士・公認心理師等)

65 訪問看護制度で正しいのはどれか。

1. 管理栄養士による訪問は保険請求できる。
2. 精神科訪問看護は医療保険から給付される。
3. 医療処置がなければ訪問看護指示書は不要である。
4. 訪問看護事業所の開設には常勤換算で3人以上の看護職員が必要である。

66 Aさん(85歳、女性)は、1人暮らし。日常生活は自立しており、健康のために毎日20～30分のウォーキングをしている。夜間は、廊下を歩いて1、2回トイレに行く。

Aさんの現時点での家屋環境の整備で最も優先されるのはどれか。

1. 便座の高さを高くする。
2. 廊下に手すりを設置する。
3. トイレの扉を引き戸にする。
4. 廊下に足元照明を設置する。

67 Aさん(52歳、男性、独身)は、銀行員。切除不能の大腸癌と診断され、外来で抗がん薬の点滴静脈内注射を受けることになった。Aさんは「治療を受けながら仕事を続けたいのですが、どうすれば良いか教えてください」と外来看護師に相談した。

外来看護師が行うAさんへの助言で最も適切なのはどれか。

1. 「所属部署の変更を上司に申し出ましょう」
2. 「副作用が出てから対応を考えましょう」
3. 「会社の健康管理部門に相談しましょう」
4. 「有給休暇を使って治療を受けましょう」

68 家族からネグレクトを受けている高齢者について、地域包括支援センターに通報があった。

この通報を受けた地域包括支援センターが行う業務はどれか。

1. 権利擁護
2. 総合相談支援
3. 介護予防ケアマネジメント
4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

69 病院では、育児中の時短勤務、夜勤専従、非常勤など多様な労働時間や雇用形態の看護師が働いている。

看護管理者が行うマネジメントで最も優先するのはどれか。

1. 夜勤専従の看護師の休暇を増やす。
2. 育児中の看護師の院内研修を免除する。
3. 非常勤看護師は患者の受け持ちを免除する。
4. 特定の看護師に仕事が集中しないよう調整する。

70 診療情報の取り扱いで適切なものはどれか。

1. 診療情報の開示請求は患者本人に限られる。
2. 医療者は患者が情報提供を受けることを拒んでも説明する。
3. 2類感染症の届出は患者本人の同意を得なければならない。
4. 他院へのセカンドオピニオンを希望する患者に診療情報を提供する。

71 医療法における病院の医療安全管理体制で正しいのはどれか。

1. 医療安全管理のために必要な研修を2年に1回行わなければならない。
2. 医療安全管理のための指針を整備しなければならない。
3. 特定機能病院の医療安全管理者は兼任でよい。
4. 医薬品安全管理責任者の配置は義務ではない。

72 看護師等の人材確保の促進に関する法律における離職等の届出で適切なものはどれか。

1. 届出は義務である。
2. 届出先は保健所である。
3. 離職を予定する場合に事前に届け出なければならない。
4. 免許取得後すぐに就職しない場合は届け出るよう努める。

73 国際社会が抱えるヘルスケアを含む課題に対して、すべての国に適用される普遍的(ユニバーサル)な目標で、2015年の国連サミットで採択されたのはどれか。

1. ヘルスフォーオール 21(Health For All in the 21st century : HFA 21)
2. ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals : MDGs)
3. 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals : SDGs)
4. 国連開発目標(International Development Goals : IDGs)

74 採血の際、血液が凝固するのを防ぐために試験管にクエン酸の結晶を入れておくことがある。

クエン酸によって血液から除かれるのはどれか。

1. トロンビン
2. プラスミン
3. カルシウムイオン
4. ナトリウムイオン
5. フィブリノーゲン

75 胃底腺の主細胞の分泌物に由来するタンパク分解酵素はどれか。

1. アミラーゼ
2. キモトリプシン
3. トリプシン
4. ペプシン
5. リパーゼ

76 成人で、^{せいじん} ^{こつずい} 骨髄が^{しぼうそしき} 脂肪組織になっているのはどれか。

1. ^{かん} 寛 ^{こつ} 骨
2. ^{きょう} 胸 ^{こつ} 骨
3. ^{だいたいこつ} 大腿骨の^{こつかん} 骨幹
4. ^{ついこつ} 椎骨の^{ついたい} 椎体
5. ^{ろつ} 肋 ^{こつ} 骨

77 臓器と^{ぞうき} 産生される^{さんせい} ホルモン^{くみあわ} の組合せで^{ただ} 正しいのはどれか。

1. ^{すい} 膵 ^{ぞう} 臓 ————— グルカゴン
2. ^{ふく} 副 ^{じん} 腎 ————— プロラクチン
3. ^{じん} 腎 ^{ぞう} 臓 ————— アルドステロン
4. ^{のう} 脳 ^か 下垂体 ————— インクレチン
5. ^{ししゅう} 視床 ^か 下部 ————— テストステロン

78 抗^{こう} 甲状腺薬^{こうじょうせんやく} の副作用^{ふくさよう} (有害事象^{ゆうがいじしやう}) で^{ただ} 正しいのはどれか。

1. ^{ひん} 頻 ^{みやく} 脈
2. ^{かんしやうがい} 肝障害
3. ^{ていけつとう} 低血糖
4. ^ふ 不 ^{せいみやく} 整脈
5. ^{がんきやうとつしゆつ} 眼球突出

79 Barthel〈バーセル〉インデックスで評価するのはどれか。

1. 栄養状態えいようじょうたい
2. 疼痛の強さとうつう つよ
3. 褥瘡の深さじよくそう ふか
4. 日常生活動作にちじょうせいかつどう さ
5. 呼吸困難の程度こきゅうこんなん ていど

80 急性心筋梗塞患者の合併症を早期に発見するための徴候で正しいのはどれか。
acute myocardial infarction 急性心筋梗塞患者の合併症を早期に発見するための徴候で正しいのはどれか。

1. 皮疹の出現ひしん しゅつげん
2. 頻脈の出現ひんみやく しゅつげん
3. 時間尿の増加じかんよう ぞうか
4. 腹壁静脈の怒張ふくへきじょうみやく どちよう
5. うっ血乳頭の出現けつにゅうとう しゅつげん

81 Alzheimer〈アルツハイマー〉型認知症の患者にみられる実行機能障害はどれか。
dementia of Alzheimer type Alzheimer〈アルツハイマー〉型認知症の患者にみられる実行機能障害はどれか。

1. シャツを前後反対に着る。ぜんごはんたい き
2. 調理の手順がわからなくなる。ちようり てじゆん
3. 物音がすると食事を中断する。ものおと しよくじ ちゆうだん
4. 鏡に映った自分の姿に話しかける。かがみ うつ じぶん すがた はな
5. 歯ブラシで髪の毛をとかそうとする。は かみ け

82 副交感神経ふくこうかんしんけいを含む脳神経のうしんけいはどれか。2つ選べ。ふた えら

1. 嗅神経きゅうしんけい
2. 視神経ししんけい
3. 動眼神経どうがんしんけい
4. 三叉神経さんさしんけい
5. 迷走神経めいそうしんけい

83 糖尿病性腎症とうりょうびょうせいじんしょうの食事療法しょくじりょうほうで制限するせいげんのはどれか。2つ選べ。ふた えら
diabetic nephropathy

1. 脂質ししつ
2. 塩分えんぶん
3. 蛋白質たんぱくしつ
4. 炭水化物たんすいかぶつ
5. ビタミン

84 アナフィラキシーショックあなふいらきしーしょくで正しいただのはどれか。2つ選べ。ふた えら
anaphylactic shock

1. 徐脈じよみやくになる。
2. 重症例じゅうしやうれいでは死しに至るいた。
3. 気道粘膜きどうねんまくの浮腫ふしゅを生じるしやう。
4. Ⅲ型がたアレルギー反応はんのうである。
5. 副腎皮質ふくじんひしつステロイドは禁忌きんきである。

- 85 前立腺肥大症で正しいのはどれか。2つ選べ。
 benign prostatic hyperplasia
1. 進行すると水腎症となる。
hydronephrosis
 2. 外科治療は経尿道的前立腺切除術を行う。
 3. 直腸診で石の様な硬さの前立腺を触知する。
 4. 前立腺を縮小させるために男性ホルモン薬を用いる。
 5. 前立腺特異抗原〈prostate specific antigen : PSA〉値が100 ng/mL以上となる。

- 86 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉に基づく五類感染症はどれか。2つ選べ。
1. 後天性免疫不全症候群〈AIDS〉
acquired immunodeficiency syndrome
 2. 腸管出血性大腸菌感染症
enterohemorrhagic *E.coli* infection
 3. つつが虫病
tsutsugamushi disease
 4. 日本脳炎
Japanese encephalitis
 5. 梅毒
syphilis

- 87 感覚性失語のある成人患者とのコミュニケーションで適切なのはどれか。2つ選べ。
1. 短文で話しかける。
 2. 身振りを加えて話す。
 3. 多くの話題を提供する。
 4. 耳元に近づき大きな声で話す。
 5. open-ended question〈開かれた質問〉を用いる。

88 交通事故によって脊髄損傷で入院した下肢に麻痺のある成人患者。
職場復帰に向けて、看護師が患者に説明する内容で適切なのはどれか。2つ選

べ。

1. 自己導尿は自宅で行う。
2. 仕事中は飲水を制限する。
3. 車椅子には体圧分散マットを使用する。
4. 残業する場合の休憩時間は不要である。
5. 職場の担当者に自分の病気について伝える。

89 人工肛門を造設した患者へのストーマケアの指導内容で適切なのはどれか。2つ
えら
選べ。

1. 装具の交換は便が漏れない限り不要である。
2. 装具をはがした時は皮膚保護材の溶解の程度を観察する。
3. 洗浄後のストーマはドライヤーで乾かす。
4. 装具の穴はストーマと同じ大きさにする。
5. 装具を貼る時は腹壁のしわを伸ばす。

90 妊娠36週の妊婦にNST<non-stress test>を行うため、分娩監視装置を装着する
ことになった。

妊婦への説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 「胎児の健康状態を判定します」
2. 「所要時間は10分です」
3. 「排尿を済ませて下さい」
4. 「仰向けで行います」
5. 「固定用ベルトを1本使用します」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

A さん(52 歳、男性)は、5 年前に C 型肝炎、肝硬変と診断され、1 回の入院歴がある。退院後、医療機関への受診を中断し 3 年が経過している。毎日、ウイスキーを約 300 mL 飲んでいる。夕食の 2 時間後に約 1,100 mL の吐血があり、緊急入院となった。

身体所見：体温 35.4℃、呼吸数 26/分、脈拍 122/分、血圧 86/42 mmHg、顔面は蒼白、冷汗を認める。意識は清明だが不安げな表情をしている。

検査所見：赤血球 278 万/ μ L、Hb 8.4 g/dL、総ビリルビン 4.1 mg/dL、アンモニア 188 μ g/dL、K 3.9 mEq/L、血糖 102 mg/dL。

91 入院時の A さんの状態として考えられるのはどれか。

1. 急性アルコール中毒
acute alcohol intoxication
2. 食道静脈瘤破裂
rupture of esophageal varices
3. 迷走神経反射
meigei shonshin kei han sha
4. 低血糖発作
teikeitoutou hossa

92 入院から 4 日が経過し、A さんは医師から「C 型肝炎、肝硬変の患者は肝細胞癌を発症することがある」と説明を受けた。A さんはスクリーニングの目的で、肝臓から骨盤内臓器までの範囲で腹部超音波検査を受けることになった。

検査前日に看護師が行う説明で正しいのはどれか。

1. 「検査直前に排尿を済ませてください」
2. 「おならは検査が終わるまで我慢してください」
3. 「造影剤のアレルギーがあれば教えてください」
4. 「検査当日は、起床時から飲食物を摂取しないでください」

93 検査の結果、C型肝炎に対し抗ウイルス療法が開始され、退院後は定期的に外来
通院することになった。

退院に向けたAさんへの食事指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 禁酒する。
2. 食物繊維を控える。
3. 高蛋白食を摂取する。
4. カリウム制限をする。
5. 熱い食べものを避ける。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

A さん(58 歳、男性、会社員)は、妻(55 歳)と 2 人暮らし。5 年前から高血圧症、
脂質異常症を指摘され、降圧薬を内服していた。自宅で左半身に脱力感が出現し、救
急車で搬送された。救急外来で CT 及び MRI 検査を行った結果、右中大脳動脈領域
に脳梗塞の所見が認められた。入院時は、グラスゴー・コーマ・スケール(GCS)
E3V4M5、体温 36.8℃、呼吸数 16/分、脈拍 66/分(不整)、血圧 160/85 mmHg、
HbA1c 5.8%、心電図では、RR 間隔は不定で心拍数 100/分であった。入院後、血栓
溶解療法を受け、2 日後からリハビリテーションが開始された。1 週間後には回復期リ
ハビリテーション病棟へ転棟した。

94 A さんの脳梗塞の原因で考えられるのはどれか。2 つ選べ。

1. 糖尿病
diabetes mellitus
2. 胃潰瘍
gastric ulcer
3. 高血圧症
hypertension
4. 心房細動
atrial fibrillation
5. 心房粗動
atrial flutter

95 入院から 3 週が経過し、リハビリテーションによって日常生活動作(ADL)は改
善しているが、夜間は眠れず、食欲も低下している。A さんは「なかなか良くな
らない。何もできなくなってしまう」と話している。

現在の A さんへの声かけで、最も適切なのはどれか。

1. 「時間が経てば良くなりますよ」
2. 「リハビリをがんばりましょう」
3. 「同じ病気の患者さんをご紹介しますね」
4. 「なかなか良くなれないと感じているのですね」

96 転棟から6週が経過し、退院に向けて多職種チームでカンファレンスを開催することになった。Aさんは、外来でのリハビリテーションを継続しながら元の職場への復帰を希望している。

Aさんの退院前のカンファレンスで適切なのはどれか。

1. チームリーダーの職種は医師である。
2. カンファレンスにAさんの妻の参加は不要である。
3. Aさんのリハビリテーションの目標は医師が決定する。
4. Aさんのリハビリテーションの内容はチームで評価する。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

A さん(82歳、女性)は、Alzheimer<アルツハイマー>型認知症で、認知症高齢者
dementia of Alzheimer type
の日常生活自立度判定基準Ⅱb、要介護1である。息子と2人暮らしであったが、1
ねんまえ 年にん前ちしゅうからたいおう認知症対応型共同生活介護<認知症高齢者グループホーム>に入所している。
むすこ しこと いそが げつ かいめんかい らいしよ ふつ かまえ かつ き
息子は仕事が忙しいため、2か月に1回面会に来所する。Aさんは2日前から活気
がなくなり、食しょく事じりょう量げんしよも減少した。本ほん日じつ、発熱や下痢を主訴に介護職員に付き添われて
がいらい じゆしん がいらい かんごし かいごしょくいん ふだん けんこうじょうたい はあく ほうほう たず
外来を受診した。外来の看護師が介護職員に普段の健康状態の把握の方法を尋ねる
と、1日1回の体温と血圧の測定、月1回の体重測定、レクリエーションへの参加の
ようす かくにん かいとう え かんごし かんたん しつもん こた
様子を確認しているという回答を得た。Aさんは、看護師の簡単な質問に答えるこ
とができる。

しんたいしよけん たいおん こきゅうすう ふん みやくはく ふん けつあつ こきゅうおん
身体所見：体温 37.0℃、呼吸数 24/分、脈拍 72/分、血圧 132/82 mmHg、呼吸音は
いじょう すいしよべん かい にち のうしゆくによウ しゆし れいかん がんしよく ふりよう ひ ふ かんそウ
異常なし。水様便が3回/日、濃縮尿、手指の冷感あり、顔色は不良。皮膚の乾燥
あり。体重 45.8 kg。

けん さしよけん はつけっきゅう じょう そちつ そ じょう ひ
検査所見：Ht 40%、白血球 9,800/ μ L、尿素窒素 25 mg/dL。Na 150 mEq/L、尿比
じょう
重 1.030。

97 がいらい かんごし かいごしょくいん ついか しゅうしゅう じょうほう もっと ゆうせん
外来の看護師が介護職員から追加で収集する A さんの情報で、最も優先するの
はどれか。

1. 過か去こ1週間の体温の変動
2. 昨きのう日の睡眠状態
3. 全ぜん身しんの皮膚状態
4. 入にゅう所しよ時じの体重

98 Aさんは入院し、点滴静脈内注射が開始された。Aさんの顔色は良くなり眠っているため、介護職員は施設に戻った。看護師がAさんの様子を確認するため病室へ行くと、目が覚めたAさんは「誰かいないの」と大声を出し、興奮した様子で点滴静脈内注射のラインを外そうとしていた。

看護師の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 睡眠薬を与薬する。
2. 入院中であることを伝える。
3. 興奮が落ち着くまで身体拘束を行う。
4. 息子に退院まで付き添うよう連絡する。
5. 点滴静脈内注射のラインを見えないようにする。

99 入院後3日。Aさんは開始された食事を全量摂取し、活気が出てきた。Aさんは自ら水分を摂ることはなかったが、看護師がお茶を勧めると、少量ずつ摂取している。体重47kg。Aさんの尿の性状は淡黄色で尿臭はなく、血液検査データは改善して基準値となったため、点滴静脈内注射が中止となり、退院が決まった。

Aさんが外来受診時と同じ状態を起こさないために、看護師が介護職員に伝える予防策で適切なのはどれか。

1. 室温は30℃に保つ。
2. 8g/日の食塩を摂取する。
3. カフェインを含む水分を摂取する。
4. 熱の放散を抑制する衣類を選択する。
5. 食事を含めて1,300mL/日の水分を摂取する。

つぎ ぶん よ
次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

A ちゃん(8 歳、女児)は、両親と妹(3 歳)の 4 人家族である。2 歳時に
気管支喘息と診断された。5 歳までは喘息発作のため救急外来を受診することも多
く、年に 1 回は入院していた。6 歳から発作を起こすこともなくなり、定期受診はし
なくなっていた。アレルギーは、ダニとハウスダストである。

100 A ちゃんは、学校から帰ってきた後から咳嗽がみられ、元気がなかった。夕食
はあまり食べずに就寝した。夜間になり「苦しくて眠れない」と訴え、母親とともに
救急外来を受診した。口元での喘鳴が著明であり、問診すると途切れ途切れに話し
た。救急外来受診時のバイタルサインは、体温 36.9℃、呼吸数 36/分、心拍数
120/分、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)92%であった。

A ちゃんの気管支喘息の発作強度はどれか。

1. 小発作
2. 中発作
3. 大発作
4. 呼吸不全

101 救急外来で気管支拡張薬の吸入が行われたが、吸入後も呼吸数 32/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉94%であったため入院することになった。入院後、鼻カニューレによる酸素投与と点滴静脈内注射が開始され、1日3回のステロイド薬の静脈内注射と1日4回の気管支拡張薬の吸入が開始された。翌日、酸素投与は中止された。バイタルサインは、体温 36.8℃、呼吸数 22/分、心拍数 94/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉97%。聴診で喘鳴が聴取された。Aちゃんは「楽になった」と話し、笑顔が見られるようになった。

この時の A ちゃんへの看護で適切なのはどれか。

1. 排痰を促す。
2. 胸式呼吸を促す。
3. 水分摂取を控える。
4. ベッド上安静とする。

102 気管支喘息による発作は軽快して点滴静脈内注射が中止された。咳嗽が軽度あるが全身状態は良好であるため、退院が決定した。Aちゃんに学校での生活状況を確認すると「最近、喘息発作はなかったけど、体育の時は咳が出たり苦しくなったりすることが時々あった」と話した。そのため、Aちゃんと母親に、退院後も抗アレルギー薬の内服と副腎皮質ステロイド薬の吸入を続けるように医師から説明された。

看護師の A ちゃんに対する退院後の指導で適切なのはどれか。

1. 「咳が出なくても体育の授業は見学しましょう」
2. 「学校で咳が続くときは先生に伝えましょう」
3. 「咳が出なくなったら薬はやめましょう」
4. 「部屋の空気の入れ替えはやめましょう」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

A ちゃん(生後 10 か月)は、それまで機嫌よく過ごしていたが、夕方から突然不機嫌になり、15～20 分ごとに激しく泣いては、泣き止むことを繰り返した。A ちゃんは夕食の離乳食を食べず母乳もしなかったが、嘔吐したため 21 時に保護者と救急病院を受診した。担当医師は保護者に、腸重積症intussusceptionが疑われるためグリセリン浣腸を行って便性を確認する、と説明した。体温は 37.1℃であった。

103 かんちよう ご そうてい はんのうべん
浣腸後に想定される反応便はどれか。

1. と ふんべん
兔糞便
2. べん
タール便
3. かいはいくしよくべん
灰白色便
4. こめ じるようべん
米のとき汁様便
5. いちごゼリー ようべん
イチゴゼリー様便

104 A ちゃんへの ぶくぶちようおん ばけん さ けつ か ちようじゆうせきしやう しんだん かくてい じゆうみやくないちゆうしや
腹部超音波検査の結果、腸重積症の診断が確定し、静脈内注射による鎮静下で高圧浣腸が行われることになった。

かん ご し いちれん しょち じゆん び もっと じゆうよう ぶつびん
看護師が一連の処置の準備をするにあたり、最も重要な物品はどれか。

1. じゆんかつ
潤滑ゼリー
2. か
替えのおむつ
3. ガーグルベースン
4. けい ひ てきどうみやくけつさん そほう わ ど
経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉モニター

105 Aちゃんは、^{こうあつかんちゆう} 高圧浣腸により^{じゆうせき} 重積が^{せいふく} 整復され、^{けい か かんざつ} 経過観察のため^{にゅういん} 入院した。翌朝、^{けいこうせつしゆ} 経口摂取が^{かのう} 可能となり、^{じゆうたい} 状態も^お 落ちついているため^{たいいん} 退院が^{けつてい} 決定した。保護者から^{ほ ごしや} 「退院後に何か注意することはありますか」と^{かんごし} 看護師に^{しつもん} 質問があった。

^{ほ ごしや} 保護者への^{せつめい} 説明で^{てきせつ} 適切なのはどれか。

1. 「^{つき} 月1回の^{かい} 受診を^{じゆしん} してください」
2. 「^{みつ} 3日間は^{かかん} 入浴を^{にゅうよく} 控えて^{ひか} ください」
3. 「^{しゅうかん} 1週間は^{りにゅうしょく} 離乳食を^{にち} 1日1回に^{かい} してください」
4. 「^{おな} 同じような^{しょうじょう} 症状が^で 出たら^{じゆしん} 受診してください」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

A さん (28 歳、初産婦) は、夫 (30 歳) と 2 人暮らし。妊娠 25 週 4 日に
妊娠糖尿病 (GDM) と診断され、インスリンの自己注射を行っている。胎位が骨盤位
gestational diabetes mellitus
であったため妊娠 38 週 2 日に予定帝王切開術を受け、3,050 g の男児を出産した。
ますい せきずい まくか ますい じゅうじゅう けいか いじょう しゅけつりょう
麻酔は脊髄くも膜下麻酔で、術中の経過に異常はなく、出血量は 480 mL であった。
だんせい ちやくよう じ ぶん こ てん
弾性ストッキングを着用している。児の Apgar (アプガー) スコアは 1 分後 8 点、5
ぶん こ てん じ ちよくちようおん こきゅうすう ぶん しんぼくすう ぶん けい
分後 10 点。児のバイタルサインは直腸温 37.3℃、呼吸数 45/分、心拍数 154/分、経
ひてきどうみやくけつさん そほう わ ど
皮的動脈血酸素飽和度 (SpO₂) 99% であった。

106 児への対応で最も優先するのはどれか。

1. 沐浴
2. 血糖値の測定
3. 経皮的黄疸計での測定
4. ビタミン K₂ シロップの与薬

107 手術後 1 日。A さんのバイタルサインは、体温 37.3℃、脈拍 68/分、血圧
124/66 mmHg であった。排ガスはあるが、排便はない。A さんは膀胱留置カテー
テルの抜去後、看護師に付き添われ歩いて室内のトイレに行った。排尿後、すぐに
ベッドに横になった。A さんは「起き上がったから頭が痛くなりました。めまいや
ふらつきはありませんでした」と看護師に話す。子宮底の高さは臍高、子宮は硬く
ふ けっせい おろ ちゅうとうりょう こうじんつう
触れ、血性悪露が中等量みられた。後陣痛はない。

A さんへの対応で適切なものはどれか。

1. 手術前から着用している弾性ストッキングを脱がせる。
2. 腹部の冷罨法を行う。
3. 床上排泄を促す。
4. 水分摂取を促す。

108 手術後7日。Aさんの術後の経過は良好である。Aさんの母乳分泌は良好で、母乳で育てていくことを希望している。Aさんは「2年後にもう1人、子どもが欲しいと思っています。避妊をどうしたらいいでしょうか」と話す。

Aさんに対する看護師の説明で適切なのはどれか。

1. 「子宮内避妊器具<IUD>は使用できません」
2. 「低用量ピルは産後1か月から使用できます」
3. 「母乳を与えている間は避妊の必要はありません」
4. 「コンドームは性生活を再開するときから使用できます」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

A さん(19 歳、男性、専門学校生)は、1 人暮らし。「皆が自分を嫌っている」と言
い、昨年から学校を休学し、アパートに引きこもるようになった。先週、夜中に大声
で叫ぶ日が続いたため、アパートの管理人が両親へ連絡をした。連絡の翌日、A さ
んの両親が訪ねてみると、A さんは「隣の人に嫌がらせを受けている。助けてくれ」
と叫び続けたため、両親とともに精神科病院へ行き、その日のうちに任意入院となっ
た。A さんは統合失調症と診断され、抗精神病薬による治療が開始された。
schizophrenia

109 A さんは、入院後 10 日から日中に臥床するようになった。夜間は熟睡してい
る。食事の時間に食堂に遅れてくることが多い。看護師と会話をするようになった
が、他の入院患者への被害妄想がある。

この時期の看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 食事介助をする。
2. 一緒に院内を散歩する。
3. 他の入院患者との交流を促す。
4. 日中に臥床しているときは声かけを控える。

110 入院後1か月。Aさんは洗面所でボーッとしていることが多くなり、頭痛や倦怠感を訴えることが多くなった。

身体所見：身長170 cm、6時の体重60 kg、17時の体重63 kg、体温36.4℃、呼吸数18/分、脈拍76/分、血圧124/70 mmHg。

検査所見：クレアチンキナーゼ〈CK〉190 IU/L〈U/L〉、空腹時血糖102 mg/dL、HbA1c 5.0%、Na 128 mEq/L、K 3.5 mEq/L、総コレステロール180 mg/dL、HDLコレステロール45 mg/dL。

Aさんの状況で最も考えられるのはどれか。

1. 水中毒
water intoxication
あくせいしょうこうぐん
2. 悪性症候群
malignant syndrome
3. セロトニン症候群
serotonin syndrome
4. メタボリック症候群
metabolic syndrome

111 入院後2か月。Aさんは症状も落ち着いてきたため、退院の準備をすることになった。Aさんは看護師に「病気はすっかりよくなったのに、ずっと薬を飲まなければならないのか。体がだるく、体力が落ちた気がする。朝から学校へ行けるかどうか心配だ」と話した。

Aさんの退院の準備のために行う支援で優先度が高いのはどれか。

1. 服薬心理教育
2. 食事への援助
3. 筋力トレーニングの指導
4. アサーティブトレーニングの指導

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

A さん(40 歳、男性、会社員)は、うつ病と診断されていた。最近、仕事がうまくいかず、大きなミスを起こし、会社に損失を与えたことから自分を責め不眠となり、体重が減少した。ある朝、リビングの床で寝ている A さんを妻が発見し、大きな声で呼びかけたところ、A さんは 1 度目を開けたが、すぐ目を閉じてしまった。ごみ箱に、からになった薬の袋が大量に捨ててあり、机には遺書があった。救急搬送後、意識が清明となり、身体的問題がないため精神科病院に入院となった。

112 入院時の看護師の A さんに対する関わりで適切なのはどれか。

1. いま死にたい気持ちがあるか尋ねる。
2. 命を大切にしようがよいと伝える。
3. 死ぬ気があれば何でもできると話をする。
4. 家族が悲しむから死んではいけないと伝える。

113 入院後 1 か月、A さんのうつ症状は改善を認めたが、同室患者とトラブルが続き、不眠や多弁傾向となった。また焦燥感が強く落ち着いて食事ができなくなった。そのため双極性障害と診断され、主治医から炭酸リチウムの内服の指示が出た。A さんは炭酸リチウムを服用して 1 週後、手の震え、嘔気が出現した。

A さんの手の震え、嘔気の原因を判断するための検査で最も適切なのはどれか。

1. 尿検査
2. 髄液検査
3. 頭部 MRI 検査
4. 薬物血中濃度検査

114 入院後3か月、Aさんは退院予定となり、元の職場に戻るための準備をすることになった。Aさんは「すぐに仕事に戻るのではなく、規則正しく生活することなどから、段階的に取り組むほうがいいのではないか」と訴えていた。

Aさんの職場復帰を含めた退院後の生活を支援するために適切なのはどれか。

1. 自立訓練
2. 就労移行支援
3. 就労継続支援
4. 精神科デイケア

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 115～117 の問いに答えよ。

A さん (70 歳、男性) は、妻 (68 歳) と 2 人暮らし。3 年前に筋萎縮性側索硬化症 (amyotrophic lateral sclerosis) <ALS> と診断され、在宅で療養生活を続けていた。その後、A さんは症状が悪化し、入院して気管切開下の人工呼吸療法、胃瘻による経管栄養法を受けることになった。妻は、退院後に必要なケアの技術指導、人工呼吸器や胃瘻の管理方法、緊急・災害時の対応について病棟看護師から指導を受けた。退院前カンファレンスにおいて、訪問看護のほかに必要な在宅サービスについて検討することになった。妻は慢性腎不全 (chronic renal failure) のため、週に 3 回の血液透析を受けており、1 回に約 6 時間の外出が必要である。

115 A さんが利用する在宅サービスで最も優先度が高いのはどれか。

1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 通所リハビリテーション
3. 短期入所生活介護
4. 療養通所介護

116 退院から 1 週後に妻から訪問看護ステーションに連絡があり「人工呼吸器のアラームが鳴り続けていて、どうしたらいいのかわかりません。低圧アラームが点灯しています。気管カニューレも抜けていないし、呼吸もいつも通りにしているように見えます」と尋ねた。

この時の訪問看護師の妻への回答で正しいのはどれか。

1. 「気管内の吸引を行ってください」
2. 「回路にゆるみがないか確認してください」
3. 「電源プラグが抜けていないか確認してください」
4. 「ウォータートラップに水が溜まっていないか確認してください」

117 退院から2週後、妻から「昨日、私が透析を受けている病院で災害が発生した場合の診療について説明がありました。在宅での生活にも少し慣れてきたし、夫のことも気になるので、あらためて災害に備えておきたいのですが、何から始めればよいでしょうか」と訪問看護師に相談があった。

訪問看護師が妻に指導する内容で最も優先度が高いのはどれか。

1. 予備の電源の選び方
2. 福祉避難所への移動手段
3. 災害用持ち出し物品の準備
4. 足踏み式吸引器の使用法

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 118～120 の問いに答えよ。

A さん(55 歳、男性、自営業)は、父親(78 歳)と 2 人暮らし。A さんは、2 年前から食後に心窩部痛を感じていたが、医療機関を受診していなかった。午後 3 時、A さんは胃部不快感を訴えた直後、突然コップ 1 杯程度の吐血があり倒れた。父親が救急車を呼び、救急病院に搬送された。到着時、意識はジャパン・コーマ・スケール〈JCS〉I-3。バイタルサインは、体温 36.4℃、呼吸数 20/分、脈拍 124/分、整、血圧 86/50 mmHg。経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉95%。顔面は蒼白で、皮膚は湿潤している。四肢冷感を認める。眼瞼結膜は軽度貧血様であるが、黄染を認めない。腹部は平坦で腸蠕動音は微弱、心窩部に圧痛を認めるが、筋性防御はない。胃部不快感は受診前よりも改善している。担当した医師に父親が「息子は黒い便が出ると言っていた」と伝えた。

118 A さんの状態で考えられるのはどれか。

1. 出血性ショック
2. イレウス
3. 低血糖
4. 脱水

119 Aさんは緊急入院となり、医師から「少なくとも2週間程度の入院が必要です」と説明を受けた。立ち会っていた看護師長にAさんは「最近、父の物忘れがひどくて、1人でどこかに行ってしまったこともあるので、家に帰せません。何とかありませんか」と訴えた。父親は要介護認定を受けているが、現在は介護保険サービスを利用せず、Aさんが介護をしながら生活していた。

Aさんの父親に対する看護師長の対応で適切なのはどれか。

1. 自院への入院を調整する。
2. 地域包括支援センターに相談する。
3. 精神保健福祉センターに相談する。
4. 特別養護老人ホームに入所相談する。

120 Aさんは、医師から「検査の結果、スキルス胃癌でした。膵臓や広範囲な腹膜への転移があって手術ができない状態でした。おそらく余命半年だと思えます」と告知され、1週後に退院となった。退院後3か月、Aさんは外来看護師に「ずいぶん腰痛と腹痛がひどく、腹水が溜まって動くのも大変になってきました。最期は人工呼吸器の装着など延命をしたくないのですが、それを意識がなくなったあとにも医師に伝える方法がありますか」と尋ねた。そこで、看護師はAさんにリビングウィルの説明をすることにした。

Aさんに対して看護師が行うリビングウィルの説明で正しいのはどれか。

1. 「法律で定められた文書です」
2. 「父親のグリーフケアに必要な書類です」
3. 「Aさんの自由意思で作成することができます」
4. 「一度作成すると内容を変更することはできません」

